



## 子どもたちの作品について

1年生が、作品バッグに絵を描きました。伸び伸びと描いている姿を見て、子どもたちは、本当に絵が好きだということが分かりました。中には苦手意識のある子もいるとは思いますが、自分の思いをいろいろな方法で表現することは大事ですから、できればにこだわらないで、線や形、色などで見たものや想像したことなどを表してほしいと思います。



子どもたちが図画工作科や書写などの時間に仕上げた作品は、教室や掲示板に貼られています。これまでに、たくさんの作品がありますので、それを作品バッグに詰めて、もって帰る時期が近づ

いてきました。持って帰った作品を、ご家庭ではどのようにされているでしょうか。そのまま置いておくことはなかなか難しいと思います。特に、大きな立体作品は、すぐ壊れますし、スペースをとってしまいます。既にされている方もいらっしゃると思いますが、データで残しておくことも一つの方法です。実物にはかかないませんが、作品の様子を思い返すことができます。年度ごとに作品集を作っておくと、成長記録になるかもしれません。



これまで掲示した作品は、絵だけではなく、俳句や作文などたくさんあります。子どもたちが持って帰ったときに、目を通していただき、そのときにどんなことを考えていたのかを、確かめてみてください。子どもたちの意外な面を垣間見ることができるかもしれません。

私は、この1年間、校内を回りながら子どもたちの作品を見て、とても幸せな気持ちになりました。ありがたいことです。

